

## Accell/SQL for DataServer Release 8.2 ( Unix ) インストールガイド

### インストールの前に

- ・ 本リリースをインストールし動作させるにはライセンスキーが必要です。インストールを行う前にサポートセンタより取得してください。  
インストールの際ソフトウェアのライセンス付与で、以下の情報の入力が必要となります。  
シリアル番号：  
ホスト名：  
ライセンスキー：
- ・ 本リリースをインストールするには、添付のリリースノートに記載されたディスク容量が必要になります。インストールする前に、十分な空きディスク領域を確保するようお願い致します。

### Accell/SQL ,Unify DataServer のインストール

次の手順にしたがってインストール作業を行ってください。なお、作業はスーパーユーザで実行します。もし、ご不明な点がございましたら、お買い上げいただいた代理店もしくは弊社サポートセンタまでご連絡下さい。

#### **CD-ROM からのインストール手順**

以下は、CD-ROM からインストール行う場合の実行手順です。

##### Step 1

CD メディアを挿入した CD-ROM をマウントして下さい。その後、CD-ROM のリリースのルートディレクトリに移動します。

[例]

```
# cd /cdrom/cdrom0
# ls -cF
      bin/      diag/      include/   lib/      tutorial/
      apps/     conv/      eWave/     install/  reports/  util/
```

##### Step 2

/usr/unify ディレクトリを作成し、パーミッション 777 を付与します。このディレクトリ下にはインストールの実行によりライセンス情報関連ファイルが作成されます。

```
# mkdir -m 777 /usr/unify
```

##### Step 3

インストール・ユーティリティを実行します。

```
# install/install
```

#### Step 4

以下のメッセージが表示されます。y を入力してください。

The directory /cdrom/xxxxxxx is not writeable.

Do you want to copy the release to a different location <y/n> y

#### Step 5

リリースをインストールするディレクトリ名 (例 /home/asql ) を入力します。

Enter the destination (target) directory.

If the directory does not exist, it will be created for you.

Target directory:

**/home/asql**

#### Step 6

指定したディレクトリが存在しない場合は新規に作成されますので、y を入力してください。

The target directory **/home/asql** does not exist.

Do you want to create it <y/n>? y

指定したディレクトリが既に存在する場合は、そのディレクトリ下の全てのファイルが削除され、インストールが続行されます。削除しても問題が無い場合は、y を入力してください。削除すると問題がある場合は、n を入力しインストールを中断します。必要なファイルをセーブした後で再度インストールを初めから実行してください。

The target directory **/home/asql** already exists.

WARNING: All files will be removed from **/home/asql** !

Do you want to continue the installation <y/n>?

#### Step 7

CD-ROM より、リリースファイルがハードディスクにコピーされます。

Source Directory: /cdrom/xxxxxxx

Target Directory: **/home/asql**

Install is now copying XXX files from the unwriteable directory.

This may take a while. A dot will be printed for each file copied

install ユーティリティは、インストールディレクトリに installmsgs という名前のファイルを作成します。installmsgs ファイルは、インストール中の進捗や状況に関するメッセージを記録します。インストール完了後、このファイルでインストールの結果を確認することができます。

#### Step 8

以下のメッセージが表示されます：

## INSTALLATION

Unify Corporation Products Release 8.xx

---

(c) 1986 – 2001, Unify Corporation.

All rights reserved.

This installation script prepares all Unify products for usage.

After this installation, you can remove unlicensed products from the installed release. See the Installation Guide for information about the product removal scripts.

Install the following product(S):

ACCELL/SQL, UNIFY DataServer, DB/Access Tools

Press <return> to begin installation, or 'x' to exit [<return>]:

### Step 9

Return を入力してインストールを開始し、リリースを読み込んで下さい。

その後、プロダクトライセンスオプションを選択するプロンプトが表示されます。

To continue with the installation, and read and follow the prompts as required for your installation, until you come to the Product Licensing options:

Select one of the following licensing options:

- 1) Enter license information now.
- 2) Continue installation and license the release later.
- 3) Push OS shell.
- 4) Terminate installation.

Selection:

ライセンスファイルを作成するために /usr/unify ディレクトリへの書き込み権限 が必要です。

### Step 10

オプション 1 を選択した場合は、プロンプトからライセンス情報を入力して下さい。

その後表示されるライセンス入力情報に間違いが無ければ 'y' を入力します。

Enter your license information by choosing option 1 and answering the prompts:

Selection: 1

Enter your serial number ('s' to skip license):xxxxxx

Enter your license key ('s' to skip license): xxxxxx-xxxxxx-xxxxxx-xxxxxx-xxxxxx

License key entered:

Serial : xxxxxx

License Key : xxxxxx-xxxxxx-xxxxxx-xxxxxx-xxxxxx

Do you want to use these license values? ([y]/n) y

ライセンスキー情報の確認後、ライセンスキー値は \$UNIFY/license.key ファイルに書き込まれ、また /usr/unify にもライセンス関連のファイルが作成されます。

#### Step 11

続いて以下のプロンプトが表示されますので、日本語のキャラクタセットを選択する場合は、1 (EUC) もしくは 2 (SJIS) を選択して下さい。Return のみを入力した場合は、英語のキャラクタセットが選択されます。

Please choose default character code set [0:Others, 1:EUC, 2:SJIS]:

#### Step 12

続いて以下のプロンプトが表示されますので、データベースが使用するデフォルトの共有メモリキーを入力して下さい。

Enter a default shared memory key ([6904])

[ ]内に示されたデフォルトの値をリターンキーのみを入力して使用するか、別のユニークな値を入力して下さい。install ユーティリティは、\$UNIFY/unify.cf ファイル中の SHMKEY として、この共有メモリキーをインストールします。

入力する数値は、10進数表記の 1234 か、16進数表記の 0x1234 のように入力します。

#### Step 13

インストールプログラムは、続いてマスターチュートリアルデータベースの構築を実行し、acell スタートアップスクリプトを作成します。ステータスメッセージがいくつか表示されます。

#### Step 14

オプションの ACCELL/SQL の機能をインストールすることもできます。このオプション機能は Motif のデフォルトのリソースファイルや Unify DataServer のファイルタイプ情報を含みます。オプションのインストールを実行するユーティリティの名称は opts.install です。プロンプトに対して'y'を入力し、オプションの ACCELL/SQL の機能をインストールします。

opts.install ユーティリティのインストールに関しては、マニュアル ACCELL/SQL: Setting Up a User Environment の Appendix "The opts.install Utility" を参照して下さい。

リリースのインストールが完了後、opts.install ユーティリティを実行してオプションの ACCELL/SQL の機能をインストールすることもできます。

#### Step 15

リリースが ACCELL/Web をサポートし、かつ Web オプションがライセンスされている場合は、Unify eWave Engine のインストールに続くプロンプトが表示されます。

Unify eWave Engine では Java Development Kit (JDK) もしくは the Java Runtime Environment (JRE)

の環境を必要とします。インストールプログラムが、有効な JDK、JRE リリースを確認できない場合、その場所を入力するプロンプトが表示されます。JDK、JRE のどちらかが確認された後、Unify eWave

Engine のインストールディレクトリを選択することができます。

Unify eWave Engine のシステム要件に関する詳細は、以下の URL を参照して下さい。

[http://www.unify-jp.com/ewave/pdf/BeforeYouStart\\_J.pdf](http://www.unify-jp.com/ewave/pdf/BeforeYouStart_J.pdf)

Step 16

install コーティリティが終了すると、ユーティリティは完了メッセージを表示します。

### ライセンス状況の確認

prlcnf コーティリティを使って、リリースのライセンス状況を確認して下さい

```
# $ACLDIR/diag/prlcnf
Unify ACCELL/SQL license info:
Serial Number: xxxxxx
Current Host Name: hostname
Expiration date: 12/31/2020
License Key Version: 8
Installation start date: 10/07/2002
Installation end date: 10/17/2002
Trial License: FALSE
Site License: FALSE
Development Enabled: TRUE
RPT/Web Enabled: TRUE
Number of licenses: 16
Runtime License Info (16 licenses):
0 total licenses in use, 16 unused licenses available.
ACCELL/Web Enabled: TRUE
Number of ACCELL/Web licenses: 8
ACCELL/Web Runtime License Info (8 licenses):
0 total licenses in use, 8 unused licenses available.
ACCELL/Web Development Enabled: TRUE
DBIntegrator Product Enabled: TRUE
DBIntegrator Driver Enabled: TRUE
DBIntegrator Server Enabled: TRUE
Number of DBIntegrator licenses: 8
```

### 不要なリリースファイルの削除

不必要なリリースファイルを削除します

このソフトウェアは、リリースの不必要な部分を削除するためのスクリプトを提供しています。

実行スクリプト名	削除されるファイル
rmacldev	ACCELL/SQL 開発用のファイルを全て削除
rmacl	ACCELL/SQL 用のファイルを全て削除
rmu2kdev	Unify DataServer DB Access 開発用のファイルを全て削除
rmu2ksvr	Unify DataServer サーバのファイルを全て削除

ライセンスを受けたソフトウェアのリリースにあわせて削除用のスクリプトファイルを使用し、不要なリリースファイルを削除してください。

### instlic ユーティリティ

インストール後にライセンス許可を行う方法は以下の通りです。

#### Step 1

コンフィギュレーション変数 UNIFY に ACCELL/SQL の lib ディレクトリのフルパス名が指定されているか、確認して下さい。

例：\$ACLDIR/lib

#### Step 2

/usr/unify ディレクトリに書き込み権限があるか、確認して下さい。

#### Step 3

\$PATH コンフィギュレーション変数に\$ACLDIR/bin ディレクトリのフルパス名が含まれているか、確認して下さい。

例:\$ACLDIR/bin:\$PATH

#### Step 4

instlic を開始します。instlic ユーティリティは以下の構文です：

```
instlic -f filename
        -s serial -k key
        -f filename  filename で指定されたファイルから、ライセンス情報を検索することを指示します。
        -s serial    指定されたシリアル番号を使用することを指示します。
        -k key       指定されたライセンスキーを使用することを指示します。
```

-f オプション、もしくは -s/-k オプションの組み合わせのどちらかを使用してライセンスキー情報を指定する必要があります。

#### Step 5

prlcinf ユーティリティを使用して、リリースのライセンス状況をチェックして下さい。

diag/prlcinf

## テープからのインストール手順

テープからリリースを読み込むには、まずメディアからリリースファイルを展開し、その後、展開したファイルをインストールします。

### メディアが1本だけの場合

#### Step 1

リリースのメディアが1本だけの場合、アーカイブコマンドを使用してメディアから全てのファイルを読み込みます。

```
tar options device
```

または

```
cpio options < device
```

options tar または cpio コマンド

device 使用するシステムメディアデバイスの完全パス名

#### Step 2

install/install を実行します。その後は **CD-ROM からのインストール手順** の Step 8 を参照してください。

### メディアが2本以上の場合

#### Step 1

リリースのメディアが2本以上の場合、アーカイブコマンドを使用してまず1本目のメディアから全てのファイルを読み込みます。

```
tar options device
```

または

```
cpio options < device
```

options tar または cpio コマンド

device 使用するシステムメディアデバイスの完全パス名

#### Step 2

install/extract コーティリティを使用して、リリースの残りの部分を読み込みます。

1本目のメディアを読み込み時に、extract コーティリティは install ディレクトリにコピーされています。

```
install/extract
```

extract コーティリティはリリースを読み込むためのデバイス名を入力するプロンプトを表示します。

このリリースの読み込みに使用するデバイスのフルパス名を入力して下さい。

以下のメッセージが表示されます:

```
To read in the rest of the release, type <y> after inserting
```

```
each media-name. After all media-names have been read in,
```

```
type <n>.
```

リリースの残りを読み込むには、それぞれのメディアを挿入して 'y'を入力して下さい。

全てのメディアが読み込まれたら 'n'を入力して下さい。

Enter <y> after inserting the next media-name.

If there are no more, enter <n>.

次のメディアを挿入して 'y'を入力して下さい。読み込むメディアがない場合は 'n'を入力して下さい。

Insert the next sequential volume and enter y. Repeat this step until all

release volumes have been read in, then enter n.

次のメディアを挿入して 'y'を入力します。全メディアの読み込まれるまで

このステップを繰り返し、最後に 'n'を入力します。

Step 3

以下のメッセージが表示されます。その後は **CD-ROM からのインストール手順** の Step 8 を参照してください。

Press <return> to begin installation, or 'x' to exit [<return>]:

### **UPDATE-KIT のインストール**

本リリースのインストール完了後、インストール先のディレクトリの下に "UPDATE" という名前のディレクトリが存在する場合は本リリースにはアップデートキットが付いています。

本リリースをご使用前に必ずアップデートキットをインストールして下さい。

アップデートキットのインストール方法につきましては該当するアップデートキット用の

リリースノート、または、 "UPDATE"ディレクトリの下に"README.xxxx"(xxxx はバグフィックス番号)をご参照下さい。

以上